

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 ドイツ語圏文化学科 2017年（留学年次） 2018年（帰国年次）
原則公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 バイロイト大学言語学部ドイツ語学科
原則公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 10月 16日 ～ 2018年 7月 14日 出国日 2017年 9月 28日 最終帰国日 2018年 8月 10日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

私が留学当初に掲げた目標は語学力の向上と専攻分野の理解向上でした。1年間の留学を振り返り、私はこの目標に向かい常に努力を怠らず満足の行く結果を出せたと思います。語学面では、途中目標がさらに明確化・向上しました。そのため2学期目からはただC1レベルのドイツ語力を目指すだけでなく、将来仕事でも通じるより実践的な語学力の習得を目指しました。目標がはっきりとしたことで勉強の仕方も変わり定着も早くなったような気がします。また、友達との会話の内容も1学期目に比べて広がり、さらに深く議論できるようになったと思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

語学の勉強です。学期初めに語学クラスのレベル分けを行うテストがあります。その結果次第でその学期間に受講できる授業が決まってしまう重要なテストなので、その選択肢の幅を広げるためにはドイツ語、英語どちらにおいても留学前から準備をしておくに越したことはありません。また留学して最初の1、2ヶ月は特に言いたいことが瞬時に出てこないことが多く、留学前にもっと色々な単語を覚えておくべきだったと思うことが多々ありました。その他には、日本の社会や文化、政治、歴史に関する知識を深めておくことも必ず役に立つと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

授業はドイツ語で行われるものが多いですが、学部によっては英語で行われるものもあります。私が専攻していたドイツ語学の講義やセミナーは全てドイツ語でした。ドイツ語学の授業は少人数制のものが多かったです。静かに授業を聴く日本とは異なり、どの授業も学生の質問や意見が活発に飛び交っており、とても学生主体のものでした。私が受講した講義では課題はなく、毎回印刷したレジュメを持参し、講義中にテキストの穴埋めをする形式だったため、聞き逃すこともあまりなく、メモをする余裕もあって、復習がとてもしやすい授業でした。教授も重要な部分は何度も丁寧に解説をしたり、具体例を挙げたりと、学生の視点にたった進め方でとてもわかりやすかったです。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

ドイツの大学の中で比較的若い大学であるため、施設が綺麗で充実しており、キャンパスはとても大きく緑に囲まれています。各学部の建物に図書館が備わっており、夜遅くまで開いているのでテスト前は特に便利です。また、ドイツ人学生は真面目な人が多く、普段から自習スペースには熱心に勉強する学生がたくさんいました。学食は二つあり、7時~20時まで営業しています。毎日異なるメニューのため飽きることなく、また安くてボリューム満点です。他にもスポーツジムや世界中の植物を集めたボタニックガーデンなどもあります。学生がのびのびと学べる良い環境です。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生向けに学術のためのドイツ語を学べる授業があります。この授業では学術用語から、教授へのメールの書き方、レポート作成の仕方、プレゼンテーションの仕方など、大学で学ぶ上で欠かせないことを教えてくれます。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

大学が提供しているバディプログラムがあります。このプログラムでは現地学生が留学生のバディとしてつき、様々な手続きの手伝いや町の案内等、留学生の要望に可能な限りでサポートをしてくれるプログラムです。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特に情報なし。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

バイロイトは清潔でどこかな街で治安もとてもいいです。日中の街中は人で賑わっています。夜になると人数が減りますが街中は街頭の光で明るく一人で歩いていても怖くありません。ただ、何度か留学中に変質者が出たとの噂を聞いたので油断もできません。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

イベントもまたたくさんあります。夕方には体育館でスポーツプログラムに参加することも可能ですし、教室での映画鑑賞、学期始めと終わりには大学の建物内でパーティーも行われます。自由時間を持て余すことがないです。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
International Communication in English: Foundation (2)	
International Communication in English Advanced (2)	
Deutsch als Fremdsprache (B2.2) Arbeit mit Texten (2)	
Deutsch als Fremdsprache (B2.2) Ausdrucksfähigkeit (2)	
Deutsch als Fremdsprache (B2.2) Mittelstufengrammatik (2)	
Deutsch als Fremdsprache (C1.1) Brückenkurs (4)	
Deutsch als Fremdsprache (C1.1) Interkulturelle Landeskunde (2)	
Deutsch als Wissenschaftsfremdsprache (4)	
Einführung in die Germanistische Linguistik (7)	
Deutsche Grammatik (3)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 198,00€、(日本円) 約 25,000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計7分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

とてもいい立地にあります。徒歩5~10分の距離に大学やスーパーがあります。また寮のすぐ近くにはバス停があるので街へ出るときに便利です。私は寮の中でもキッチンがルームメイトと5人で共有するWGタイプに住んでいました。シャワーとトイレは個別にあります。共有のキッチンは広く使いやすかったですが、ルームメイトとのゴミ当番等のルール作りが大変でした。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 106 €、(日本円) 約 13,500 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) マイレージ特典

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 500 €、(日本円) 約 60,000 円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

学費…約 26,000 円

教科書代…約 20,000 円

寮代…約 25,000 円×10 ヶ月

5. 保険について

(1) 保険会社名

Techniker Krankenkasse (TK)

(2) 保険料

約 12,000 円/月

(3) 加入した保険の種類、内容

学生保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

何度か歯のトラブルで歯医者に通ったことがありましたが、保険範囲に歯医者での診療代も含まれていたため、お金を払うことなく診てもらうことができとても役に立ちました。歯の検診とクリーニングも無料でやってくれるので利用するべきだと思います。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

一つ目は変換アダプタです。ドイツのコンセントはCタイプですが、他のタイプにも対応するものを持って行ったため、イギリスに行った時にも使えて便利でした。また一つではなく複数あるといいと思います。二つ目は医薬品です。普段使っているものを持って行ったため腹痛や風邪を引いた時にも安心して服用でき、こじらせることもありませんでした。三つ目はヒートテックです。パイロイトの冬は気温がマイナスになることが稀ではありません。厳しい寒さに耐えるためにはヒートテックが欠かせませんでした。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

荷物を最小限にして持って行ったため基本的に無駄なものはありませんでしたが、一つ挙げるとするならば日本のインスタント食品です。留学前に留学経験者の方からドイツの食事が合わなくて苦労したとの体験談を聞いていましたが、私は幸いそのようなことがなかったのでそこまで多く持って行く必要はありませんでした。また、パイロイトにはアジア圏の食品を扱うお店が2店もあるので必要になったらある程度のものはそこで調達できます。

(4) 持って行けば良かったと思う物

一番持って行けば良かったと思うのは日焼け止めです。ドイツの夏は日差しが強く、日焼け止めを現地の薬局で何種類か購入しましたが、どれも塗った後のベトベトが気になって結局日焼け止めなしで夏を過ごしました。日焼けをしたくない人は日本のさらっとした日焼け止めを持って行くといいと思います。またマスクも風邪を引いたときがあると便利でしょう。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

1日のほとんどをキャンパス内で過ごしました。基本的な流れとしては、午前中の授業の後に友達と学食でお昼を済まし、午後の授業の合間にはカフェをしたり、図書館で自習をしていました。授業が早く終わる日はスポーツプログラムに参加したり、友人と一緒に料理を作ったり、街に出たりと勉強と自由時間をうまく使い分けました。

(2) 週末

お得なバイエルンチケットや Flixbus という格安バスを利用して、友達と色々なところへ出かけました。冬にはクリスマスマーケットを巡ったり、趣味である美術館や世界遺産を巡りました。またガイドブックをきっかけにその地域の特色や歴史を知ることも大変勉強になり、自分の興味関心の幅が広がりました。

春や夏はとてもいい天気の日がほとんどで寮の近くにあるホーフガーデンという公園やその脇にあるワーグナーミュージアムにも行きました。また祝祭歌劇場の奥にある森にハイキングをしに行ったり、近くの街にある湖に泳ぎに行ったりととても自然に囲まれていました。

8. 後輩へのアドバイス等

留学前は自分が思い描く理想の留学生在活が果たしてできるのかという漠然とした不安があり、バイロイトについてからもそこでの生活に慣れるまでは、言語や文化の違いに戸惑うことも多々ありました。しかしそうした経験を含め留学中には新たな発見やたくさんの方が学べます。語学は確かに日本にいても身につけることはできますが、より実践的で生きたドイツ語は学べないと思います。また各国から学生が集まる大学では今まで自分が当たり前だと感じてきたことがそうでないことに気づかされます。多くの人と出会い様々な価値観や今まで自分になかった考え方を得ることができます。留学をしようか迷っている人には、少しでも留学してみたいという気持ちがあるならば是非挑戦してほしいと思います。またこれから留学する人には何事も積極的な姿勢でポジティブに頑張してほしいです。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。